

<書き方例 1>

『 』の最高の人生 「お母さん」への愛のメッセージ

「お母さん、私を産んで育ててくれてありがとう。おかげで、最高の人生を送ることができました。お母さんがいつも見守ってくれてたおかげだよ。本当にありがとう。お母さんが私にしてくれたことは、当たり前ぐらいに思ってたけど、そうじゃなかった。お母さんがどういう思いで、してくれていたのか、私にはわかりませんでした。本当に感謝がたりませんでした。ごめんなさいお母さん。いつも心配ばかりかけて、迷惑もいっぱいかけたけど、お母さんはいつも命がけで、私のことを見守ってくれてたね。私を命がけで産んでくれて、私が病気のときは、寝ずに看病してくれたり、お母さんが代わってあげたいよって言ってくれたよね。お母さん、本当に私のことを心配してくれていたんですね。ありがとう。お母さんには、心配かけたり、けんかしたり、いろいろあったけど、今最高の人生をおえることができたのは、全部、お母さんのおかげです。最後の最後まで見守ってくれていたんですね。産んで、育ててくれて、本当にお母さんの子供で幸せだったよ。本当にありがとうございました。」

<書き方例 2>

「お母さん」からの愛のメッセージ

〇〇、よくがんばったね。お母さん嬉しいよ。辛いこと、苦しいこともあったろうに、よく乗り越えていい人生を歩んでくれたね。〇〇が最高の人生を歩んでくれて立派に生きてくれて、これほど嬉しいことはないよ。ありがとう。

〇〇いい人生だったね。愛する家族に見守られ立派に人生を全うしたね。ご苦労様でしたね。お前が小さい頃良くお母さんの手伝いをしてくれたね。勉強もがんばって、立派に仕事をしていたね。お母さんは、〇〇に十分なことをしてやれなくてすまなかったね。お母さんはいつもお前の事が心配でついきついことも言ったけど、それでも最後に最高の人生だったと言ってくれてお母さん本当に嬉しいよ〇〇、ありがとう。お前が私の子供でいてくれて、本当に幸せだよ。本当に良くがんばったね。いろいろな事を乗り越えて、立派に人生を送ったね。〇〇は、お母さんの自慢の子供だよ。本当に素晴らしい人生を送ってくれて、ありがとう〇〇。もう何もいうことはないよ。本当におめでとう。